

第9回草津市総合計画審議会 会議録

■日時：

令和2年11月18日（水） 14時00分～15時00分

◆場所：

草津市役所2階 特大会議室

■出席委員：

赤星委員、安里委員、北村委員、喜田委員、久保委員、肥塚委員、小寺委員、清水委員、田中(進)委員、塚口委員、中嶋委員、中島委員、中村委員、馬場委員、三浦委員、宮城委員、宮下委員、森田委員、谷地田委員、山口委員

■欠席委員：

井上委員、上野委員、角谷委員、田中(里沙)委員、土山委員、南委員、森本委員、山下委員

■事務局：

橋川市長

総合政策部

田中部長、堀田理事(草津未来研究所・経営戦略担当)、金森副部長、柴田副部長(男女共同参画担当)、古川副部長(人権政策担当)

総務部

黒川副部長

まちづくり協働部

岡田副部長

環境経済部

田中副部長、高岡副部長(資源循環担当)

健康福祉部

田中副部長

子ども未来部

河合副部長

都市計画部

一浦副部長

建設部

生田副部長

上下水道部

島田副部長(給排水担当)

教育委員会事務局

南川副部長、作田副部長(学校教育担当)

危機管理課

舟木課長

企画調整課

小川課長、宇野課長補佐、村上副係長、力石主査、山田主査

傍聴者：

なし

1. 開会

- 開会にあたって、田中総合政策部長より挨拶

- 事務局

草津市総合計画審議会設置条例施行規則第5条第2項に基づき、委員の半数以上の出席という要件を満たしており審議会が成立していることを報告。

2. 審議

(1) 第6次草津市総合計画 第1期基本計画(案)について

●事務局

<資料1について説明>

●委員

市民満足度の指標の数値が全体的に低いように思う。特に、「22-1 まちづくり情報の提供の充実」の指標の数値が低く、第5次総合計画第3期基本計画の指標である「市政情報等が手に入りやすいと思う市民の割合」よりも低い数値となっているのはなぜか。

●事務局

市民満足度の指標の数値については、市民意識調査に基づき設定しており、市民意識調査については、回答項目を大きく分けると「満足」「普通」「不満」に分けられ、「普通」の回答が多いため、満足度が低くなっているが、できる限り、「不満」の回答を減らすとともに、「普通」ではなく「満足」と回答いただけるよう、取組を進めてまいりたいと考えている。なお、第5次総合計画第3期基本計画の指標である「地域のまちづくり情報が簡単に手に入ると思う市民の割合」は市民意識調査のうち、異なる調査項目を反映しているものであり、数値が減っているわけではない。

●委員

「草津市行政経営改革プランの各年次の実施計画における成果を得られたと評価する項目の割合」の指標の数値が100%となっているが、どのような考え方で設定されたものか。

●事務局

策定中の草津市行政経営改革プランの実施計画の中で、項目ごとに各年度の成果目標を設けており、その成果目標をすべて達成するという趣旨で設定している。

●会長

指標の考え方について、P14に記載するなど、わかりやすくなるように検討いただきたい。

●委員

市民意識調査は、同じ形式で実施するものか。

●事務局

市民意識調査については、毎年、市民3,000人を対象に、同内容の調査項目を用いてアンケート調査を実施しているものであり、計画期間の4年間についても同様に調査を実施してまいりたいと考えている。

●委員

参考資料1の体系図について、「地方創生」はどのように整理されるのか。

●事務局

「地方創生」については、第6次草津市総合計画第1期基本計画と一体的に策定しており、体系図については、第1期基本計画に関する項目を整理したものである。また、体系図の中では、「地方創生」の項目は設けてはいないが、第6次草津市総合計画の将来ビジョンの実現と地方創生の目指すべき方向性は同じものと考えている。

●委員

「私たちの役割（行政）」について、「DV やセクシャルハラスメントで悩みを抱える男女の相談および支援を行います。」とあるが、「男女」と限定するのではなく、「性別にかかわらず」などの表現にしてはどうか。

●事務局

御意見を踏まえ、表現を検討させていただく。

●委員

IT に対する市の姿勢が感じられないように思うが、どのように考えているのか。

●事務局

IT 化をはじめ、行政のデジタル化については、全庁的に取り組んでいく必要があると考えている。このことから、今回の第1期基本計画では、分野別の施策の中で個別に記載するのではなく、全体に関する記載にするため、「第1期基本計画について」の「行財政マネジメントについて」の中で、「行政のデジタル化・オンライン化を進める」と記載している。

●委員

満足度の指標について、できる限り、満足の割合を上げていくことという考え方には、納得したので、ぜひ、100%を目指して取組を進めていただきたい。

●委員

指標の数値が空欄になっているところがあるが、今後、数値が記載されるのか。

●事務局

新規の指標につきましては、これまでの市民意識調査の実績値がないことから、空欄としているが、今年度の市民意識調査において、実績値が固まった時点で、令和6年度までの目標値を設定する。

3. 閉会

●事務局

12月10日に答申、12月15日から来年1月14日までパブリックコメントを実施予定。12月20日にはタウンミーティングを実施予定。

●閉会にあたって、橋川市長より挨拶